

## 2022 年度事業計画（中高）

<p><b>1. 基本方針</b></p> <p>聖書に基づくキリスト教精神の原点にたち、常にこれを意識しながら教育活動にあたる。神様がその名を知り、愛された存在である一人一人の生徒を、現在要求されている学力のみによって評価するのではなく、その生徒の成長が自己肯定感・自己効力感を高めることにつながるものとする。そして、平和を創ること、隣人につながることを生涯を通して希求する者となることを教育目標とする。</p> <p>「まなぶ」……主体的に楽しく学ぶ。「みとめる」……他者を認め、自分を認める。「つながる」……他者や社会とつながる。以上の3つのキーワードを設け、それぞれ、「主体性の伸長」、「人間理解の深化」、「グローバルマインドの育成」をカリキュラムポリシーとする。この教育課程をよりよいものに構築し、その実践を成果につなげるように取り組む。</p> <p>緊急経営改善対策に対して、中高が守るべき具体的な重要事項は、中学新入生の定員確保である。少子化は将来にわたって続いていく状況の中で、それを守るために努力を惜しまず取り組む。また、中高の経営状況の丁寧な分析をし、中長期的な改善対策を立て、早急に実践していく。</p>			
<p><b>2. 具体的アクション</b></p>			
第2次中期計画（行動計画）	2022 年度事業計画	目標達成のための手段等	具体的な目標（数値目標）
<p>(1) 教育理念の実践と内部質保証の実質化</p> <p>ア キリスト教主義教育</p> <p>a. 礼拝を守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の礼拝を守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール礼拝、放送礼拝、学年礼拝において、生徒に静粛・黙想・傾聴の姿勢を守らせる。</li> <li>・キリスト教行事の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教強調週間の諸行事が普段の学校生活の大切なものにつながる取り組みを模索する。</li> </ul>
<p>イ 新しい教育課程の実践</p> <p>a. 課題研究カリキュラムの実践 →思考・判断・表現力</p> <p>b. 主体的な学びの実践</p> <p>c. 一人1台PCの活用</p> <p>d. グローバル教育の実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な探究の時間」の充実</li> <li>・EP（Extensive Program）講座の発展</li> <li>・教科横断的な取り組みの推進</li> <li>・PS（Peace Studies）の学びの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究教育検討委員会の指針による実践をし、更なる発展をするように取り組む。</li> <li>・生徒が主催する講座の拡大および外部講師による講座など学校の外につながる講座の拡大。</li> <li>・授業自体を生徒が展開するなどして、学びの目的を自らが見出すように取り組む。</li> <li>・課題研究の視点を入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表者の発信力の育成のみならず、応答者の意見・質問を通して身につく力を充実させる。。</li> <li>・PS の学びに、課題研究的な手法を取り入れ、生徒一人一人の学びのゴールをつくる。</li> </ul>
<p>ウ 生徒支援の充実</p> <p>a. 集団に適応できない生徒の支援</p> <p>b. 基本的生活習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談体制の充実</li> <li>・SNS 使用のモラルを高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談会議の指針による実践。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ルームの在り方などをふくめ、中学生のフォロー体制を強化する。</li> <li>・欠席多数による転出生徒の減少。</li> <li>・生徒保護者アンケートの評価の向上。</li> </ul>

<p>エ 広報・入試対策</p> <p>a. 志願者数の確保</p> <p>b. 入試問題の適正化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効な広報活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の教育方針をわかりやすく発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志願者数 700 名を維持する。</li> <li>・21 年度に実施した、学校ミニ見学会などを実施し、学校生活での安心感などを伝える。</li> </ul>
<p>オ 進学実績を伸ばす</p> <p>a. 難関大学の実績を伸ばす。</p> <p>b. 推薦入試・総合型選抜への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習習慣の定着を図る。</li> <li>・授業での学びの質を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の家での過ごし方が問題となっている。放課後の過ごし方など、新しい対応をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東大京大 4 名以上。国公立医歯薬 8 名以上。</li> <li>・保護者の進路に対する要求が、多岐に渡っている。共通な対応は、学力保障である。ICT 利用など、個別適正化という言葉も聞かれるが、40 名の一斉授業で行われる授業を見直す。</li> </ul>
<p>カ 緊急経営改善対策を行う</p> <p>a. 状況の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部による分析を実施。</li> <li>・早急な対応が必要なことを実施。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分析後の相当な中高の収支構造改革に取り組む。</li> </ul>